

MODEL CHA-7000W

7MHz Wideband
Ground Plane Antenna

取扱説明書

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

安全にお使いいただくために

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しい使用方法でご使用ください。
この取扱説明書は必要なときにご覧いただけるよう、大切に保管してください。

★組み立ての前に、下のパーツリスト通りに部品がそろっているかご確認ください。

【特長】

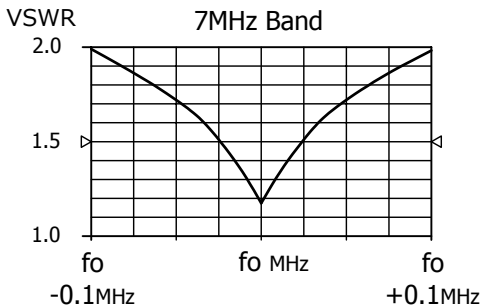
- 従来のG Pアンテナと比較して、広帯域特性と耐入力特性の向上を実現した給電構造としています。
- 下部エレメントの肉厚2mmとし、ネジボルト類にステンレス製を用い、耐久性の向上と耐候性を向上させています。
- 耐入力を1kW(CW)へ改良しました。

【仕様】

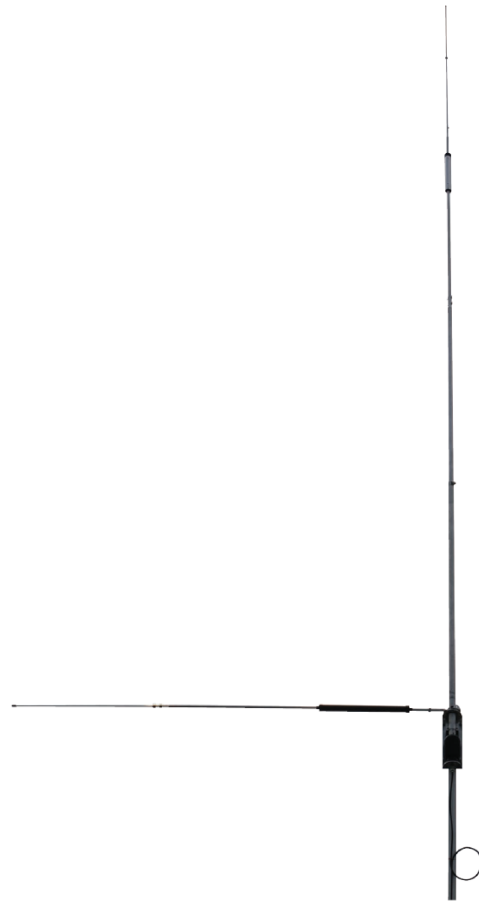
- 周波数：7.0~7.2MHz
- 種別：1/4λ短縮 単一形GP
- 耐入力：1kW(CW)
- VSWR：2.0以下(下表参照)
- インピーダンス：50Ω
- コネクタ：M-J 型
- 取付マスト径範囲：Φ30~72mm
- 耐風速：30m/sec(※)
※竜巻や突風等、急激な負荷によって破損する可能性がありますので、ステイロープの増設をおすすめいたします。
- 全長：約5.6m
- 質量：約3.9kg

◆本製品は、中心周波数 7.100MHzで仮調整しております。

◆VSWR 参考値



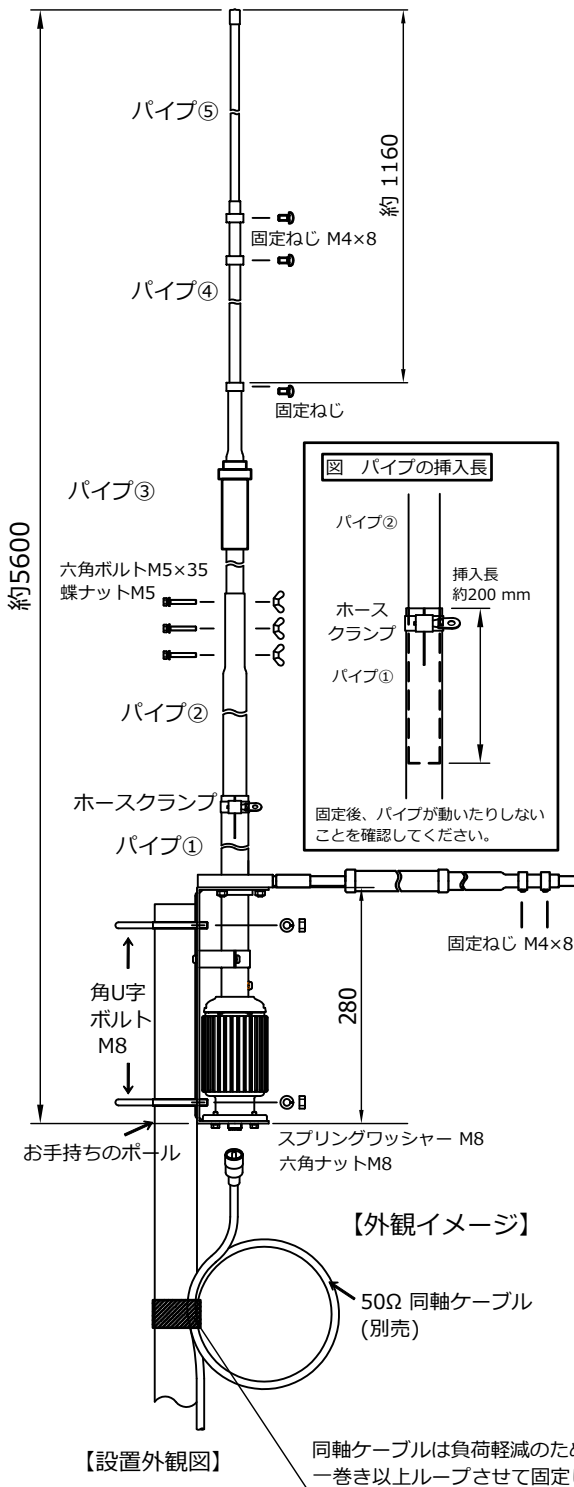
◆アンテナ地上高は、10m以上を推奨いたします。



⚠ 取付・設置上の注意点

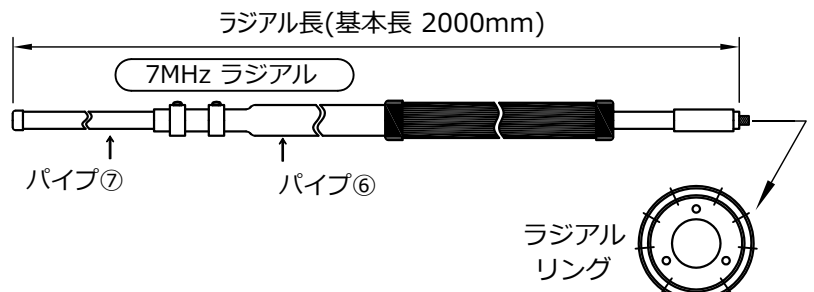
- 屋根の上など高所での作業時には、落下事故やけが防止のため、安全帽と安全帯を必ずご使用ください。
- 接続ケーブルのコネクタとアンテナのコネクタが同じ種類であることを確認してから接続してください。違う種類ですと、コネクタを破損する可能性が高いので注意してください。
- ねじ、金具類はしっかりと締め付けて固定してください。固定が不安定な場合、地震・車両の通過振動等で緩み、落下事故や電気特性不良の原因となります。
- 長期的な設置の場合、防水処理をしっかりと行ってください。防水処理に問題があると、ショートや腐食等の不具合原因となります。
- 他のアンテナ・高圧電線・鉄塔・高層建造物に注意して設置してください。近接物があると、アンテナの性能が十分に発揮できない可能性があります。

	パーツリスト	数量
1	給電部 (コの字金具・パイプ① 組立済)	1組
2	ラジアルAssy	1
3	ホースバンド (パイプ①に取付済)	1
4	ラジアル受け金具 (給電部組み込み・ねじ付き)	1
5	パイプ②(パイプ①差込)	1
6	パイプ③(パイプ②差込)	1
7	パイプ④(ねじ付き)	1
8	パイプ⑤ (パイプ④差込)	1
9	パイプ⑥(ねじ付き)	1
10	パイプ⑦ (パイプ⑥差込)	1
11	角U字ボルトM8(ワッシャー・六角ナット付)	2組
12	六角ボルトM5x35(座金付)、蝶ナット	2組
13	自己融着テープ (20cm)	1



【組み立ておよび使用までの手順】

- 1) 左図のようにパイプ①にパイプ②を200mm差し込み、ホースクランプを締めて固定します。
- 2) パイプ③を引出し、ローディング下部パイプ下側にあるねじ穴位置を合わせ六角ボルトと蝶ナットを用いて2カ所を締付けます。
- 3) パイプ③に入るパイプ④の挿入長を85mmとし、ねじを締付けて固定します。
- 4) 差込まれているパイプ⑤を引出して、④と⑤の合計長が1160mmとなるように設定し、M4×8なベネジにて2カ所を締付けて固定します。(1160mmより長く設定すると、共振周波数が低くなります。)
- 5) 7MHz帯ラジアルの先端パイプ⑦を引き出し、基本全長2000mmとなる位置でロックねじ2箇所を締めて固定します。(下図参照)
- 6) 各ラジアルのコイル部にある赤印部(水抜き穴)が下側になるようにラジアルリング(給電部上側に取り付け済みのアルミ製金具です)に取り付け、六角ナットを締めて固定します。
- 7) 手持ちのポールに添付の角U字ボルト、スプリングワッシャー、六角ナットを使用してアンテナを取付固定します。
- 8) 市販品の50Ω同軸ケーブル(M-Pコネクター付き)を給電部のコネクターに接続し、自己融着テープで防水処理を行ってください。
- 9) アンテナの共振周波数とSWRを確認し、SWRが2.0以下(1.5以下を推奨)になっていることを確認したあとに運用を開始します。
▼共振周波数の調整は、パイプ④または⑤の長さ変更を行ってください。SWRアナライザ(CAA-270またはCAA-500)があると、共振周波数の把握がしやすく便利です。



【外観イメージ】

50Ω 同軸ケーブル (別売)

【設置外観図】

同軸ケーブルは負荷軽減のため、一巻き以上ループさせて固定してください。

★建物等設置環境の影響でSWRが変化する場合がありますので、そのときはパイプ⑤の挿入寸法などを変えて調整してください。

* 防水処理時の自己融着テープは元の長さの1.5~2倍に伸ばしながらテープ幅の半分が重なるように巻いていってください。長期設置の場合、耐候性確保のために上からビニールテープを巻いて保護してください。

⚠ 使用上の注意

- 送信時はアンテナに触れないようにしてください。特にハイパワー運用時はやけどの可能性があります。
- 雷発生時にアンテナや同軸ケーブルに触れると、直接雷や誘導雷で感電する可能性があります。被害を最小限にすることと無線機保護のため、雷が近づいてきた場合には配線類を外されることを推奨いたします。
- 仕様を超えるパワーでの運用は行わないでください。予期せぬ事故や故障の可能性があります。
- 調整を正しく行い、SWRを確認した上で運用してください。SWRが悪いまま使用されると、加熱による不具合や故障の可能性があります。
- ご自身での改造や修理は行わないでください。予期せぬ事故の可能性があります。

【アフターサービス】

- ・部品の紛失・修理・破損、および長期使用後の劣化交換用として補充部品を用意しておりますので、お近くの販売店等にご相談ください。
- ・厳重な品質管理において生産しておりますが、万が一不具合等がありましたら、ご購入いただいた販売店にご相談ください。

【点検とお手入れ】

- ☆異常と思われる現象が発生したとき、直ちに使用を中止してください。
- ★修理等につきましては、購入された販売店または弊社サービス担当までご相談ください。
- ☆定期的に、ねじ部の緩みおよび設置状況をご点検いただきますようお願いいたします。

■ 品質向上のため、予告なく仕様および外観を変更することがありますのでご了承ください。

コメット株式会社

〒336-0026 埼玉県さいたま市南区辻4-18-2
TEL : 048-839-3131(代) / FAX : 048-839-3136
URL : <http://www.comet-ant.co.jp/>